



FOR IMMEDIATE RELEASE

October 19, 2026

札幌国際短編映画祭2026、YumeBau特別 協賛の「ヒューマン・インテリジェンス賞 (Human Intelligence Prize)」を発表

AI時代に、人間ならではの物語を紡ぐ力とクラフトマンシップを称える新たな賞

札幌、2026年10月20日 — 札幌国際短編映画祭（SSF）は、カナダ・バンクーバーに拠点を置くYumeBau Inc.との協力により、特別賞「Human Intelligence Prize（ヒューマン・インテリジェンス賞）」を新設することを発表しました。本賞は、2026年10月23日(金)から25日(日)まで札幌で開催される第21回映画祭で、初めて授与されます。

ヒューマン・インテリジェンス賞について



ヒューマン・インテリジェンス賞は、映画制作における人間ならではの魂を感じさせる技法やシーンを取り入れ、人間の手仕事による技術と芸術性が発揮された作品を評価する賞です。対象となるのは、2026年のインターナショナル部門にノミネートされた作品で、受賞作品には賞金20万円が贈られます。受賞結果は、10月23日（金）16時から開催されるアワードセレモニーで発表されます。本賞は、2026年の映画祭のための特別賞として新設されるものです。



コメント



Mr. Wilson J. Tang

YumeBau Inc.のCEO兼創業者であるウィルソン・J・タン氏は、次のように述べています。

「私は、映画祭ファウンダー・プロデューサーの久保俊哉氏、映画祭事務局長の本間貴士氏、そして札幌国際短編映画祭が何十年にもわたり、世界中から集まる、丁寧な手仕事によって紡がれた〈人間の物語〉を称えてきたことに、長年敬意を抱いてきました。

特に、世界が人工知能（AI）の大きな転換点に立っている今、人間ならではの物語を生み出す力と、人間の手仕事の価値を認め、称えることは、これまで以上に重要になっています。

私たちは、テクノロジーを活用してデジタル体験を創造する企業ですが、私たちの理念は常に明確です。

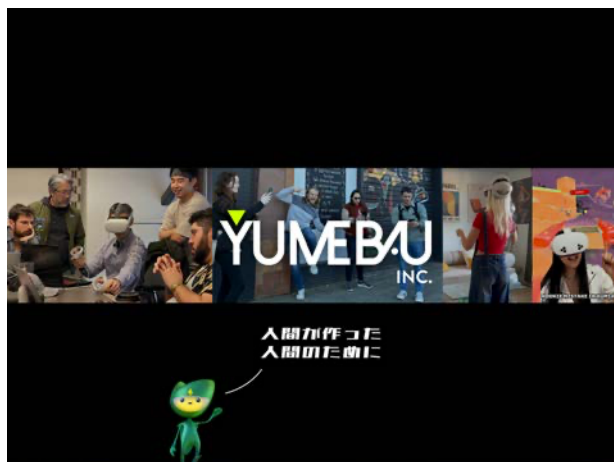
Made By Humans. Made For Humans.（人間によって、人間のために作られる）

この賞は、まさに私たちの理念を体現するものです。」

ビデオメッセージ: <https://youtu.be/sh3hTFAKpVg?si=iheMn-sqWUmBKtS->

YumeBau Inc.について

YumeBau Inc.（ユメバウ）は、カナダ・バンクーバーを拠点とする独立系ゲームスタジオであり、ゲーム、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）などの技術を活用した、没入感のあるデジタル体験を創造するクリエイティブ・テクノロジー企業です。アーティスト、デザイナー、開発者が協働し、人々が遊び、学び、交流するための新しい体験を開発しています。



主な実績には、『Fortnite（フォートナイト）』関連の制作協力、Metaとの空間コンピューティング分野における研究開発、自社開発のVRゲーム『BuildPortXumia』などがあります。「**Made By Humans. Made For Humans.**（人間によって、人間のために作られる）」

を理念に掲げ、テクノロジーを通じて人間の創造性、想像力、そして人と人とのつながりを豊かにすることを目指しています。

Website: <https://www.yumebau.com/>



Sapporo International Short Film Festival's Statement on the



ウィルソン・J・タン氏は、長年にわたり札幌国際短編映画祭と深い関係を築いており、これまで国際審査員も務めてきました。私たちは、長年にわたる友情と継続的な支援に深く感謝しています。そして今年、タン氏が率いるYumeBauがスポンサーとして映画祭を支援し、ヒューマン・インテリジェンス賞を創設してくださったことを、大変光栄に思います。映画祭への多大なご支援と、この意義ある賞を設けてくださったことに対し、ウィルソン氏ならびにYumeBauの皆さまに心より感謝申し上げます。

タン氏は、国際コンペティション部門のノミネート作品の中から、ヒューマン・インテリジェンス賞の受賞作品を選ぶ審査も担当しました。AIが創造的な表現にますます大きな影響を与えるなか、人間ならではの創造性、芸術性、そして物語を紡ぐ力の価値を認め、称えることは、映画作家や映画業界に希望と励ましをもたらすと、私たちは考えています。この賞を通じて、映画芸術に人間だからこそもたらすことのできる価値を改めて確認し、映画の未来を切り拓く力となることを願っています。

新たな表現者を発見し、創造的な才能を称え、映画の未来を支えていくことの大切さをYumeBauと共有できることを、私たちは特にうれしく、ありがたく思っています。

札幌国際短編映画祭について

札幌国際短編映画祭（SAPPOROショートフェスト）は、2006年から毎年秋に札幌市で開催されている、日本最大級の国際短編映画祭です。カナダ映画テレビアカデミーが公認する映画祭でもあり、これまでに国内外の多くの新進監督を紹介してきました。第21回となる2026年は、94の国・地域から2,622作品の応募があり、オフィシャルセクションとして選出された28の国・地域、計96作品を上映します。

過去には、映画監督の大林宣彦氏、岩井俊二氏、漫画家のモンキー・パンチ氏らが審査員を務めました。2026年は、カンヌ、ヴェネチア、ベルリンの世界三大国際映画祭で審査員を務めた香港の映画監督ジョニー・トー氏、『敵』（東京国際映画祭3冠）の吉田大八監督、釜山国際短編映画祭アーティスティック・ディレクターのイ・サンフン氏が国際審査員を務



めます。今回新設される本賞を通じて、映画祭は、AI時代の映画制作の核心にある、人間ならではの創造性、物語を紡ぐ力、クラフトマンシップ（職人技）を称えます。

開催概要

名称：第21回 札幌国際短編映画祭（SAPPOROショートフェスト 2026）

会期：2026年10月23日（金）～25日（日）

会場：

- ・生活支援型文化施設 コンカリーニョ（札幌市西区／JR琴似駅直結）※メイン会場
- ・シアターキノ（札幌市中央区）
- ・休日ビルヂング（札幌市南区・定山溪温泉）
- ・八軒会館（札幌市西区）※トークイベント会場

主催／運営：NoMaps実行委員会／映画祭運営部門

公式サイト：<https://sapporoshortfest.jp/>

チケット：<https://teket.jp/10642/77279>

映画祭の詳細は、[10月10日配信のリリース](#)もご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

札幌国際短編映画祭（NoMaps実行委員会）

担当：久保／島田

メール info@sapporoshortfest.jp

公式サイト <https://sapporoshortfest.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/sapporoshortfest>

X（旧Twitter） <https://twitter.com/sapporoshort>

Instagram <https://www.instagram.com/stories/sapporo.short.fest/>
